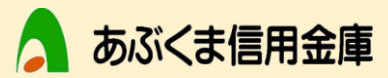


あぶしん景況レポート

2025年7～9月期



総合企画部

Vol.21 2025.10 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

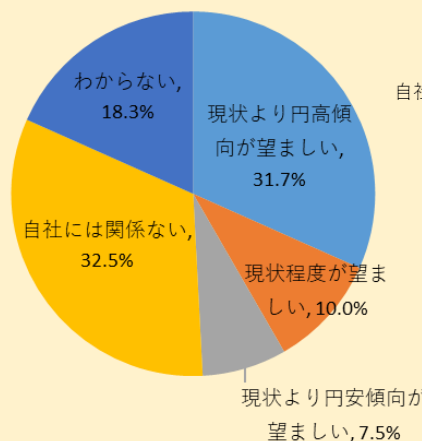
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2025年 4～6月								▲ 21.7
2025年 7～9月								▲ 11.7
2025年 10～12月 (見通し)								▲ 5.8

- 2025年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は▲11.7で前期比10.0ポイントの改善だった。業種別に見ると製造業、建設業を除く4業種では10.0ポイント以上の改善だった。
- 2025年10～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲5.8と、今期実績比5.9ポイントの改善を見込んでいる。

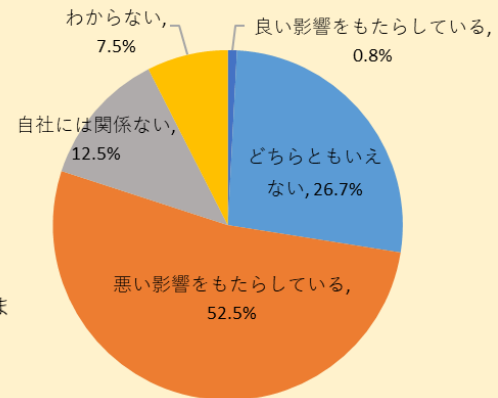
特別調査 - 不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営 -

- 今後の為替相場（主にドル円相場）の望ましい水準について、為替相場は現状より「円高傾向が望ましい」が31.7%となり、円高を望む企業が多い傾向にあった。
- 物価上昇傾向から受ける影響については「悪い影響をもたらしている」が52.5%と半数以上を占めた。

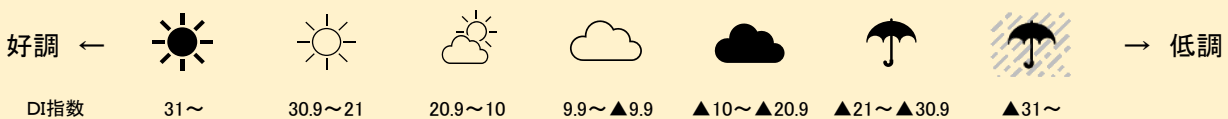
為替相場



物価上昇



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん>
各支店へ！



あぶくま信用金庫
0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
http://www.abukuma.co.jp/



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	5.0	15.0	50.0	20.0	10.0	▲ 10.0
	実績	0.0	30.0	20.0	35.0	15.0	▲ 20.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	25.0	45.0	20.0	10.0	▲ 5.0

業況判断 D. I. は前期（実績）より 10.0 ポイント悪化し、▲20.0 となった。経営課題に「人手不足」を挙げる企業が前期より増加した。来期（予想）D. I. は 15.0 ポイント改善し、▲5.0 となる見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	原材料高	40.0%	55.0%
1	人手不足	40.0%	15.0%
3	人件費の増加	35.0%	40.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	55.0%	55.0%
1	経費を節減する	55.0%	45.0%
3	人材を確保する	50.0%	40.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	5.6	55.6	22.2	16.7	▲ 33.3
	実績	0.0	16.7	38.9	38.9	5.6	▲ 27.8
来期 (10-12月)	予想	0.0	5.6	50.0	38.9	5.6	▲ 38.9

業況判断 D. I. は前期（実績）より 22.2 ポイント改善し、▲27.8 となった。重点経営施策ではほとんどの企業で「販路を広げる」と回答した。来期（予想）D. I. は 11.1 ポイント悪化の▲38.9 となる見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	66.7%	61.1%
2	同業者間の競争の激化	33.3%	22.2%
3	利幅の縮小	27.8%	27.8%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	94.4%	77.8%
2	経費を節減する	55.6%	44.4%
3	人材を確保する	33.3%	27.8%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	4.8	23.8	47.6	23.8	0.0	4.8
	実績	4.8	19.0	52.4	19.0	4.8	0.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	19.0	66.7	9.5	4.8	4.8

業況判断 D. I. は前期（実績）より 14.3 ポイント改善し、0.0 となった。経営課題としては、「人手不足」が最も多く挙げられたが、前期からは減少した。また、「商圏人口の減少」を課題とする企業も新たに増加した。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	33.3%	38.1%
2	人件費の増加	28.6%	42.9%
3	仕入先からの値上げ要請	23.8%	42.9%
3	売上の停滞・減少	23.8%	33.3%
3	販売商品の不足	23.8%	19.0%
3	商圏人口の減少	23.8%	0.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	38.1%	42.9%
2	品揃えを改善する	23.8%	33.3%
3	人材を確保する	19.0%	33.3%
3	売れ筋商品を取扱う	19.0%	19.0%
3	教育訓練を強化する	19.0%	19.0%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	5.0	5.0	65.0	20.0	5.0	▲ 15.0
	実績	0.0	15.0	55.0	30.0	0.0	▲ 15.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	65.0	20.0	0.0	▲ 5.0

業況判断D.I.は前期（実績）から25.0ポイント改善し、▲15.0となった。経営課題では、「人件費の増加」と「材料価格の上昇」が引き続き高い比率を占めており、コスト増が大きな負担となっている。また「利幅の縮小」を挙げる企業も増えており、収益環境の厳しさがうかがえる。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人件費の増加	55.0%	40.0%
2	材料価格の上昇	50.0%	55.0%
3	人手不足	35.0%	35.0%
3	利幅の縮小	35.0%	5.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	60.0%	40.0%
2	人材を確保する	45.0%	45.0%
3	経費を節減する	40.0%	45.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	4.8	19.0	38.1	33.3	4.8	▲ 14.3
	実績	4.8	23.8	28.6	38.1	4.8	▲ 14.3
来期 (10-12月)	予想	9.5	23.8	33.3	23.8	9.5	0.0

業況判断D.I.は前期（実績）と変わらず▲14.3となった。「人手不足」を経営課題として挙げる企業が圧倒的に多く、前期から大きく増加しており、深刻な課題となっている。来期D.I.は14.3ポイント改善の0.0となる見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	76.2%	47.6%
2	材料価格の上昇	28.6%	42.9%
2	売上の停滞・減少	28.6%	28.6%
2	同業者間の競争の激化	28.6%	23.8%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	71.4%	57.1%
2	経費を節減する	57.1%	47.6%
3	技術力を高める	38.1%	33.3%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	5.0	0.0	75.0	10.0	10.0	▲ 15.0
	実績	5.0	15.0	65.0	15.0	0.0	5.0
来期 (10-12月)	予想	5.0	5.0	85.0	5.0	0.0	5.0

業況判断D.I.は前期（実績）から10.0ポイント改善し、5.0となった。重点経営施策では、「不動産の有効活用を図る」が最も多く、次いで「販路を広げる」、「経費を節減する」となった。既存資産の有効利用や販路拡大など、安定収益の確保に向けた取組みが進められている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	同業者間の競争の激化	40.0%	35.0%
2	利幅の縮小	30.0%	20.0%
3	売上の停滞・減少	25.0%	45.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	不動産の有効活用を図る	35.0%	35.0%
2	販路を広げる	30.0%	35.0%
2	経費を節減する	30.0%	30.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 12,991社

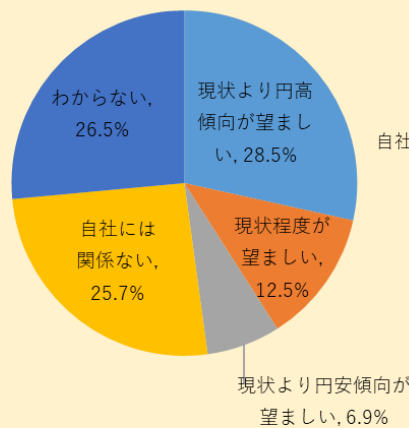
		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2025年 4~6月								▲ 6.9
	2025年 7~9月								▲ 5.7
	2025年 10~12月 (見通し)								▲ 4.3
東北	2025年 7~9月								▲ 17.3

- 全国の2025年7~9月期（今期）の業況判断D.I.は▲5.7、前期比1.2ポイント改善と、2四半期連続の小幅改善となった。2025年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲4.3と、今期実績比1.4ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の2025年7~9月期（今期）の業況判断D.I.は▲17.3と、前期比4.9ポイント改善した。2025年10~12月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲18.0と、今期実績比0.7ポイントの悪化を見込んでいる。

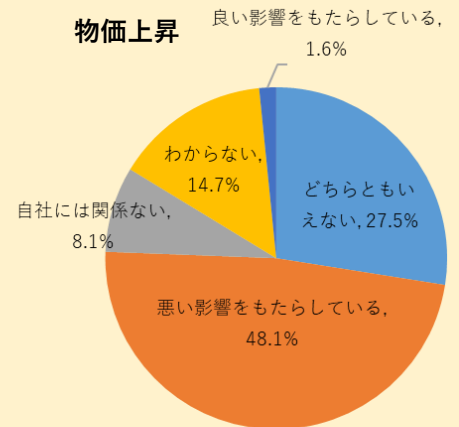
特別調査 - 不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営 -

- 今後の為替相場（主にドル円相場）の望ましい水準について、為替相場は現状より「円高傾向が望ましい」が28.5%となり、円高を望む企業が多い傾向にあった。
- 物価上昇傾向から受ける影響については「悪い影響をもたらしている」が48.1%と約半数を占めた。

為替相場



物価上昇



全国の調査員からのコメント

- 猛暑で家畜の餌の消費量が落ち、取引先の家畜数も減少していることから、売上が減少傾向。（飼料等卸売 長野県）
- 金融機関とのやり取りは対面が中心だが、書類管理等が煩雑なため、部分的なオンライン化を望む。（住宅建設業 大阪府）

【調査要領】

1. 調査時期 2025年9月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。